

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「個人に最適化された社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

他者とのインタラクションを支えるサービスの創出

3. 研究開発課題名

Neurodiversity を跨ぐ相互理解のためのコミュニケーション基盤の創出

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

西尾 萌波（国立研究開発法人国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター 研究員）

5. 評価結果

評点：S 特に優れている

総評：

本研究開発課題は、発達障害児のバイタルデータを活用したサポートツールを開発することにより、発達障害児が自己の特性を理解することを助け、自分で行動を選択する能力を養うことを図り、発達障害が一つの個性として受け入れられる社会の実現を目指すものである。

探索研究期間では、発達障害の療育および保育に関するニーズを把握し、独自の動画解析技術を用いて 0-5 歳の 500 名以上の乳幼児の映像データベース基盤の構築を進め、動画解析技術の特許出願や事業展開に精力的に取り組む、優れた研究成果が得られた。さらに、研究成果を社会に還元する体制を構築し、10 の自治体との包括連携協定や共同研究協定の締結、および東南アジアにおける療育現場と関係を確立し、積極的なアウトリーチ活動を展開した点も高く評価する。

今後は、探索研究の開発手法を学齢期の子どもにも拡張することで、本格研究での研究開発でさらに発展することを期待する。

以上